

中学 3 年 国語科 教材別テスト⑤

教材別リメイク版 中学 3 年 国語 / 「俳句の可能性／俳句を味わう」

3 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」(P. 1～P. 4)までです。解答はP. 5～P. 8の解答用紙に書きなさい。
- 大問四は、教科書『国語3』(光村図書)の「俳句の可能性」「俳句を味わう」のページを開いて解答しなさい。
- 大問四は、「俳句を味わう」に収められている句の中から自分で一句を選んで答える形式です。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 (50点)

次の——線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。③・⑧・⑬・⑮・⑯・⑰は送りが必要なので、必ず送りがなまで書くこと。

1点×20=20点

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 江戸時代の <u>俳人</u> 。 | ② <u>連歌</u> から発展した文芸。 |
| ③ 一句を <u>詠む</u> 。 | ④ 言葉を <u>凝縮</u> する。 |
| ⑤ 深い <u>余韻</u> が残る。 | ⑥ 俳句を <u>鑑賞</u> する。 |
| ⑦ <u>趣</u> のある風景。 | ⑧ 情景が目 <u>に浮かぶ</u> 。 |
| ⑨ 作者の <u>感慨</u> を思う。 | ⑩ <u>繊細</u> な感覚。 |
| ⑪ <u>こせい</u> が光る。 | ⑫ 言葉を <u>しょうりゃく</u> する。 |
| ⑬ 春の <u>おとずれ</u> を喜ぶ。 | ⑭ <u>ゆうだい</u> な山を仰ぐ。 |
| ⑮ <u>するどい</u> 感覚。 | ⑯ 鐘の音が <u>ひびく</u> 。 |
| ⑰ 心に <u>きざむ</u> 。 | ⑱ <u>せいじゃく</u> に包まれる。 |
| ⑲ <u>よはく</u> を生かす。 | ⑳ 平和の <u>しょうちょう</u> 。 |

二

語句の知識について、次の問いに答えなさい。

2点×7=14点

- (1) 「風流」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 流行を追いかけること。 イ 上品で趣のあるものを味わい楽しむこと。
ウ 川の水が流れていくこと。 エ 人のまねをして作品をつくること。
- (2) 「推敲」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 人に作品をすすめること。 イ 作品を声に出して読むこと。
ウ 文章や詩歌の表現を何度も練り直すこと。 エ 作品を人まえで発表すること。
- (3) 「余情」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア あまった時間を楽しむ気持ち。 イ 読み終えたあとに心に残る味わい。
ウ 激しく高ぶった感情。 エ 作者が隠している本当の気持ち。
- (4) 「客観」の対義語を、漢字二字で書きなさい。
- (5) 「俳」の部首名を、ひらがなで書きなさい。
- (6) 四字熟語「花鳥風月」の読みを、ひらがなで書きなさい。
- (7) 「開花」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 国立 イ 読書 ウ 高低 エ 岩石

俳句の形式と修辞について、次の問いに答えなさい。(取り上げた句は、すべて江戸時代から明治時代の作者のものです。)

16点

- (1) 俳句の定型(決まった音数)を、「○・○・○」のように漢数字で答えなさい。 2点
- (2) 季語を季節ごとに分類して集めた書物を何というか。漢字三字で答えなさい。 2点
- (3) 次の語群から切れ字にあたるものをすべて選び、そのまま書き抜きなさい。【完答】 2点

や が かな にて けり ども

- (4) 「古池や蛙飛びこむ水の音」(松尾芭蕉)の季語を書き抜き、その季節も答えなさい。 2点
- (5) 「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」(正岡子規)の季語を書き抜き、その季節も答えなさい。 2点
- (6) 「菜の花や月は東に日は西に」(与謝蕪村)の句切れはどこか。次から一つ選び、記号で答えなさい。 2点

ア 初句切れ イ 二句切れ ウ 中間切れ エ 句切れなし

- (7) 次の①～④の説明にあてはまる用語を、後の語群から一つずつ選んで書きなさい。

1点×4＝4点

- ① 定型より音数が多くなっていること。
- ② 季語を用いずに作られた俳句。
- ③ 一句の中に、直接関係のない二つの事物を並べ、互いに引き立て合わせる作り方。
- ④ 決まった音数(定型)にとらわれずに作られた俳句。

字余り 字足らず 無季俳句 自由律俳句 取り合わせ 一物仕立て
体言止め 季重なり

四

教科書『国語3』（光村図書）の「俳句を味わう」のページを開き、収められている句の中から自分の心にいちばん残った一句を選んで、後の問いに答えなさい。

50点

【解答のきまり】

- ・選ぶ句は、必ず教科書「俳句を味わう」に収められている句の中から一句とします。
- ・句の全体は書かないこと。（1）では、作者名と、句の最初の三字だけを書きなさい。（2）以降も、句全体を書き写す必要はありません。
- ・（2）以降は、すべて（1）で選んだ同じ一句について答えなさい。

（1） あなたが選んだ句の作者名と、その句の最初の三字を書きなさい。（句の全体は書かないこと。）

4点

（2） その句の季語を一つ書き抜き、その季節（新年・春・夏・秋・冬）を答えなさい。季語がない場合は「無季」と書きなさい。

4点

（3） その句に切れ字があるかないかを答えなさい。ある場合はその切れ字を書き抜くこと。また、句切れの位置（初句切れ・二句切れ・中間切れ・句切れなし）と、そう判断した理由を書きなさい。

6点

（4） その句に用いられている表現技法（切れ字・体言止め・比喻・擬人法・倒置・反復・取り合わせ・一物仕立てなど）を一つ挙げ、それがどのような効果をあげているかを説明しなさい。

8点

（5） その句に描かれている情景（どこで、何が、どうなっているか）を、二十五字以上四十字以内で説明しなさい。

8点

（6） その句で、作者が最も強く心を動かされていること（感動の中心＝主題）は何か。二十五字以上四十字以内で説明しなさい。

10点

（7） あなたがこの一句を選んだ理由と、自分の感想を、六十字以上八十字以内で書きなさい。その際、句の中の言葉を「 」に入れて引用すること（引用は三字程度でよい）。

10点

※（5）（6）は25～40字、（7）は60～80字です。句読点も一字と数えます。字数の範囲から外れると減点されます。

解答用紙① 知識・技能

中学３年 国語科 教材別テスト⑤「俳句の可能性／俳句を味わう」

３年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (１点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
一 (つづき)	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき） 知識・技能

中学３年 国語科 教材別テスト⑤「俳句の可能性／俳句を味わう」

二 語句の知識 (2点×7)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三 俳句の形式 と修辞 (16点)	(1)		(2)		
	(3)				
	(4)	季語	／ 季節	(5) 季語	／ 季節
	(6)				
	(7)①		(7)②		
	(7)③		(7)④		

※ 三（４）（５）は、季語と季節の両方が正しいときに得点となります。（３）は完答です。

解答用紙② 思考・判断・表現

中学3年 国語科 教材別テスト⑤「俳句の可能性／俳句を味わう」

3年 組 番 氏名 _____

思考・判断・表現
小計

合計(100点満点)

四(1) (4点)	作者名		句の最初の三 字	
四(2) (4点)	季語		季節	
四(3) (6点)	切れ字(有・無／) 句切れ() 理由			
四(4) (8点)	表現技法() 効果			

解答用紙②（つづき） 思考・判断・表現

中学３年 国語科 教材別テスト⑤「俳句の可能性／俳句を味わう」

四（５）
（８点）
25～40字

四（６）
（10点）
25～40字

四（７）
（10点）
60～80字

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（５）（６）は25～40字、（７）は60～80字です。（７）では句の言葉を「 」で引用すること。

